



清流小学校だより

～12月号～

令和6年12月23日

ふるさとキャリア教育から学ぶ子供たち

校長 弥生 陽子

子供たちが「ふるさとを知り、自らを見つめ、自らの生き方を考える」ことを通して、ふるさと魚津に誇りと愛着をもち、将来にわたりふるさとを思い支えていく人材の育成を目指して、市内全小中学校でふるさとキャリア教育に取り組んでいます。

本校でも、毎年、地域の方のご支援の下、3年生はりんごの栽培、5年生は米作り等の体験活動をしています。今年度は、それに加え、4年生はよっしゃこい蝶六やせりこみ蝶六を教わりました。また、6年生は、魚津警察署の渡辺署長からかつて赴任した中東での体験談を聞いたり、世界で活躍する選手の指導の下、車椅子バスケットを体験したりしました。

子供たちの声や姿を一部紹介します。4年生は、練習後に「すごく楽しかった」「街流しに出てみたい」「もっとじょうずになりたい」とみんな笑顔で地域の方を囲みながら話していました。地域の方も子供たちの声に、顔をほころばせておられました。

6年生では、渡辺署長の話に、「(不便な所なのに)また行きたいですか」と質問する子供がいました。渡辺署長は「また行きたいです。家族みんながそう言っています」と力強く言われ、その子は、「えー」と声をあげました。予想とは違う回答にびっくりするとともに「大変だったのにどうしてまた行きたいのだろう」と思ったのでしょうか。

加積出身の車椅子バスケット岩井選手から「楽しむことを忘れない」「明日はこれ、その次の日はこれと小さな目標に挑むこと」を大切にしていると教えてもらい、お礼の手紙に「毎日一つ一つの目標をもって、大きな目標をかなえられるようになりたい」と書いていました。



ふるさとを知り、自らを見つめ、自らの生き方を考えるふるさとキャリア教育には、普段の学習では得られない、体験したからこそ得ることができる心の学びがあります。そして、子供たちがもち合わせている素直さがさらに心を豊かなものとしています。子供たちの成長を間近で見ることができる幸せに教員としてのやりがいを感じるとともに、このような気持ちにさせてくれたゲストティーチャーや地域の方々、子供たちに感謝です。

保護者の皆様、2学期も学校教育にご理解とご協力、ありがとうございました。

運動会や学習発表会・清流フェス等、様々な行事やPTA活動へのご支援・ご協力に深く感謝しています。

いよいよ子供たちが楽しみにしている冬休みです。2学期の成長を共に喜び、家族の触れ合いを深め、よい年をお迎えください。

SNS等のトラブル防止について

冬休みに入るにあたり、メールやSNS等の使用が多くなるものと思われます。子供たちの中には、友達への不満を載せるなど、トラブルに発展しかねない様子が見受けられます。使い方がまだまだ未熟な子供たちです。お子さんの携帯電話やスマートフォンの使い方を把握するとともに、よりよい使い方について、ご家庭で十分話し合ってください。

12月の子供たちの様子より

車椅子バスケットボール教室（6年生） 12月12日（木）、13日（金）



東京オリンピック 2020 銀メダリストの岩井孝義選手らをお招きし、6年生が車椅子バスケットボールを体験しました。選手の皆さんがすごい速さで移動ができることに、6年生は大変驚いていました。6年生同士の試合の後、選手の皆さんとも試合をしました。10人対2人というハンディをもらいましたが、なかなかうまくシュートまでつなげられず、車椅子バスケットボールの難しさ、奥深さを実感できたようです。

最後に選手の皆さんへの質問タイムでは、時間が足りないくらい質問をしていた6年生でした。選手の言葉から多くのことを学んだ機会となりました。

赤い羽根共同募金贈呈式 12月18日（水）



全校のみんなで集めた募金を魚津市社会福祉協議会の方へ贈呈する式がありました。ボランティア委員の子供たちがウォッシュャクんに募金を贈りました。募金に協力してくださった皆様、ありがとうございました。

最後にウォッシュャクンとの握手会がありました。多くの子供たちが駆け付け、大盛況でした。

学年会計報告の配布について

これまで学年会計報告を学期末に配布していましたが、次の学期初めに配布することにします。学期末の慌ただしい中よりも、次の学期に入り、落ち着いた中で配布する方が確実に目を通していただけるという理由からです。ただし、3学期は、学年末の報告のため3月末に配布します。ご理解をお願いいたします。